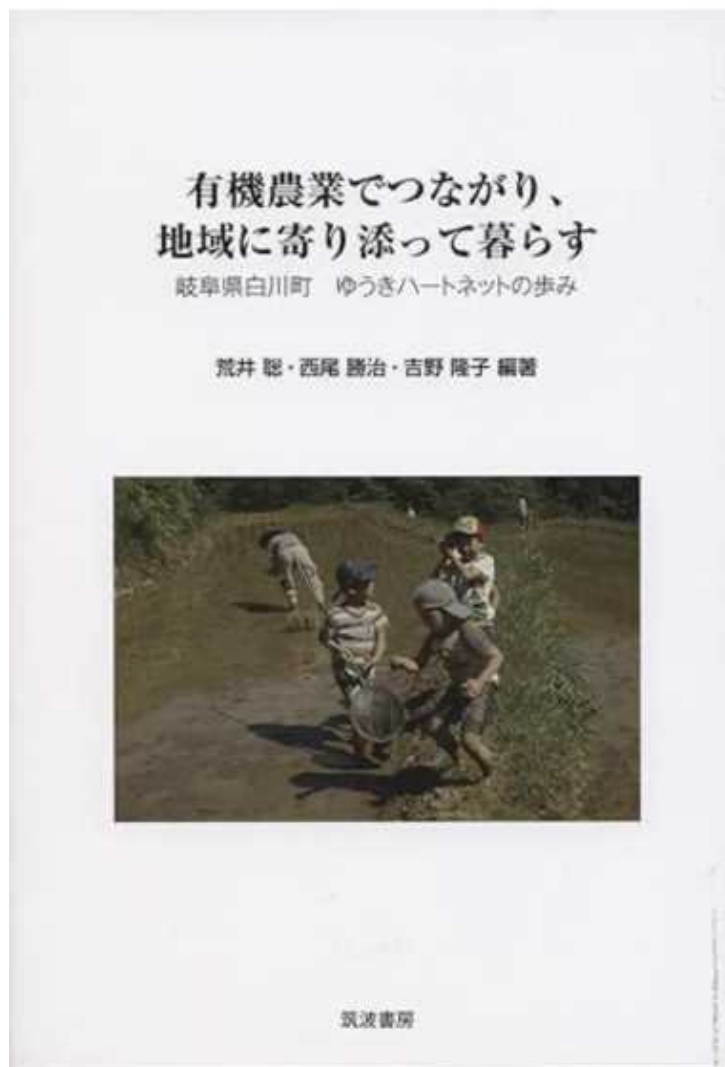


刊行書籍



40代の有機農家の実践レポート

- ・ 和ごころ農園
- ・ 暮らすファームSunpo
- ・ 五段農園
- ・ 田と山

白川町のみどり戦略

白川町有機の里づくり協議会

目指す姿

個々の農業から地域連携の有機農業へ

オーガニックビレッジ宣言

白川町オーガニックビレッジ宣言

1998年、白川町内の有機農業者で組織する「ゆうきハートネット」が中心となり、小さなテーブルから町内有機農業の取り組みがスタートしました。

世界共通の目標である「SDGs」への世界的な取り組み、国が目標として掲げる「みどりの食料システム戦略」の実現に向けて、持続可能な食料生産システムの構築と、地域環境にやさしい農業が求められています。

本町への移住の選択肢として、有機農家の暮らしを目指して、まちに移住される方が増えています。移住される方と、白川町のつながりを築いてきたのが「ゆうきハートネット」であり、関係人口を増やす取り組みを続けていきます。

木曾川流域での暮らしが安全で、安心に、そして持続的に繋がっていくことを、上流の里山で暮らす私たちが心掛けていくことで、人・食料・経済の好循環が生まれると信じています。町内5河川の流域で暮らす白川町民にとって、流域での考え方は、とても大事にしています。

田んぼにいたるたくさんの小さな生き物
畑でゆめく色とりどりの草花
山から湧き出るおいしい水

当たり前に傍受している自然の恵みが、当たり前じゃなくなってしまうように、子どもたちの世代へと残していきたい。里山とまちが有機的につながり続ける世界。わくわくする未来を子どもたちにつなぐ。

白川町では、有機農業の推進について、「ゆうきハートネット」を中心としながら、みんなの想いが活きる・つながる・広がるまちを目指して、ここに「オーガニックビレッジ」を宣言します。

令和5年3月29日
白川町長 佐伯 正貴

有機農業に 地域ぐるみで 取り組む町



オー
ガ
ニ
ッ
ク
ビ
レ
ッ
ジ
宣
言

令和5年3月29日、白川町は有機農業に地域ぐるみで取り組む町として「オーガニックビレッジ」を宣言しました。

白川町の有機農業は、平成10年に10人ほどの農家が集まり、米や大豆を中心とした有機農業の勉強会として始まりしました。ゆうきハートネットと名づけられたこの団体は、有機農業推進法のモデル事業で佐見に結びの家を設置したことを機に、平成23年にNPO法人化されました。その後、黒川マルケが設置されると、就農研修の受け入れや消費者との交流がスムーズにできるようになり、現在では1ターンの就農希望者を受け入れられる体制が確立されています。

ゆうきハートネットは有機農家が中心となって販売促進、技術向上、就農支援、体験交流の4つの事業に取り組んでいます。その中で移住促進や学校給食、地域資源の循環、そして子どもの農体験など、多くの面で白川町のまちづくりにも貢献しています。このことが認められ、平成31年度の農林水産祭では

「豊かな暮らしづくり」部門で内閣総理大臣賞を受賞しました。こうして白川町は全国から「有機農業の町」として注目され、ゆうきハートネットには視察の問い合わせが多く寄せられるようになりました。

白川町では、今後もゆうきハートネットと岐阜県、そしてめぐみの農業協同組合らと構成する有機の里づくり協議会が中心となり、白川町内の有機農業を推進していくための取り組みを進めていきます。

(ゆうきハートネットにとっての)
オーガニックビレッジ宣言の意味

農家が中心となって有機農業を推進

(ボランティアでは厳しい)

(行政がやってほしい仕事だなあ)

行政の立場から、有機農業の推進もしていくという意思表示をしてもらえたこと

<課題>

まち全体に浸透するほどの熱量はなし・・・
行政が当事者となってやってもらえない

白川町の有機農業を点から線へ、
そして面として盛り上げていくために

①地域農業としての有機農業の可能性調査

様々な関係者とつながりをもつ

②循環システムの構築

未利用資源と流通網でつなぐ

③新しいVISIONのPR・普及活動

エリアの発信

取組内容

①地域農業としての有機農業の可能性調査

持続可能な地域にするために、農業ができることを改めて様々な組織と対話する。

有機農業の収益強化を図り、地域に還元する

- ・ 営農組織との有機農業のあり方調査
- ・ 食育推進事業
- ・ 収量向上のための事業
- ・ 加工品開発事業
- ・ 技術勉強会・講演会の開催

3 取組内容

②循環システムの構築

資源循環と白川町内の不利な物流を改善することで小さな農業を活性化させるための事業

- ・ 未利用資源の循環に関する事業
- ・ 流通システムの構築のための事業

3 取組内容

③新しいVISIONのPR・普及活動

新しいVISIONを共有することで、会員同士の連携を強め、白川町内外へエリアの魅力を発信する事業

- ・ビジョンストーリーとロゴづくり
- ・小農フェスの開催
- ・ホームページのリニューアル
- ・京都オーガニックEXPO出展

取組内容の報告

③新しいVISIONのPR・普及活動

エリアの発信



里山の風景、営み

川の上流～下流のつながり

リングで循環をイメージ



き
う
ゆ
ト
ー
ハ
ツ
ネ
ト



ゆき
ハート
ネット





9日10:00~16:00
fiume Marche

入場無料

ムスピノカナデ (惣菓子)
白黒 (パン)
ピザ屋のソルジェンテ
スパイスライフダーナ (カレー)
BAM'sキッチン (ベビーカステラ)
大黒屋 (和洋菓子)
直ちゃんの五平餅 (五平餅)
農工会青年部黒川支部 (鶏ちゃん)
黒山守研究所 (ワークショップ)
ゆうきハートネット (野菜・加工品)
など

会場：東座

9日13:30~15:00
基調講演

入場無料

「雨風太陽」代表
高橋博之氏

都市と地方を
かき混ぜる

会場：東座

2023
9.9.-10.
10:00開会



会場：黒川東座
(岐阜県岐阜市黒川1584-2)

9日16:00~
交流会

電子予約

クラフトビールのビルワリーを
会場に、この日だけの特別な
「里山バル」をオープン。
食べて、飲んで、語り合おう！
会場：暮らしファームsunpo

10日10:00~14:00
視察ツアー

電子予約

yama-J's 千空農園
田と山
清涼しいたけ屋
hakimoto
sato-J's 暮らしファームsunpo
和ごころ農園
五段農園
クワスムデザイン
会場：各地域

10日10:00~15:00
白川ローカルスタンプ

入場無料

移住・就農・就労ブース
ワークショップブース
飲食ブース
ゆうきハートネットパネル展示
会場：東座



川の上流に位置する白川町で、里山を守って行くことはここに暮らす我々だけでできることでは
ありません。流域に住む人たちに知ってもらい、支えてもらう。里山と町をつなげる場として、
私たちの活動をお披露目する場として「小農フェス」を企画しました。

白川町は令和5年3月に「オーガニックビレッジ宣言」をしました。

fiume Marche

出店者の詳細はInstagram
グラムでご確認ください



fiume marche

岐阜県白川町で
「触覚」「聴覚」「視覚」
「嗅覚」「味覚」
五感をあしめるマルシェ
「環境に優しく、
心を大切に」
白川町 × SOGs を
発信します

9日13:30~15:00 基調講演



高橋博之氏「雨風太陽」代表

1974年岩手県花巻市生まれ。岩手県議を2期務め
た後、「世なおしほ、食なおし」「都市と地方をか
き混ぜる」をモットーに全国各地を巡る。地方の
生産者と日本中の消費者をつなぐ「食べる通信」
発行、2016年には全国の農家・漁師・就農者と会
しながら食材を育てるスマホアプリ「市ケツマル
シェ」をリリース。都市と地方をかき混ぜる事
業を通して関係人口を創出している。

おどろきのコースをお選びください
ランチ・お土産付き 7000円⇒ 視察ツアー

yama-J's

電子予約

山づくりと林業の説明
住居・農家、木の小物作り
原本しいたけほほ見学
山の中でランチ hakimoto
(地元野菜のカレーと白川茶、おやつ)

sato-J's

サウナロウリュ体験
クラフトビール試飲
堆肥温度当てクイズ
ストローベールハウス見学
黒川小学校食育園場見学
黒川 Maruke でランチ：まる々とカフェ
(米粉パンバスタと白川茶、おやつ)

白川ローカルスタンプ



もう少し白川町を知りたい方、
ちょっと時間がある方、
熱い白川町民がいます。
お気軽にお立ち寄りください。

口移住・就農・就労ブース
口ワークショップブース
口飲食ブース
口ゆうきハートネットパネル展示

交流会 里山バル
5000円

電子予約



ゆうきハートネットメン
バーの野菜をふんだんに使った体
験的里山バル。世界中を旅し
料理してまた農夫 hakimoto
運命のバルは、ゆうきハート
ネットメンバーとの交流の場
にもなっています。
食べて、飲んで、語り合おう！
里山のミライを！

最新情報はInstagram
で確認ください⇒



⇒9日交流会・10日視察ツアー
申し込みフォーム

宿泊はこちらをご参照ください⇒
白川町グリーンツーリズム協議会HP



主催：白川町有機の里づくり協議会・NPO法人ゆうきハートネット・JAめぐみの・白川町・岐阜県
協力：東座保存会・白川町移住交流サポートセンター・白川町観光協会・ワークドット協同組合
商工会青年部黒川支部・ヤゴシラカワ・黒山守研究所
(問合せ) NPO法人ゆうきハートネットホームページ問合せフォームより⇒
お問い合わせください。 https://www.yuki-heartnet.org



有機農業産地づくり推進基金助成事業を活用しています。



白田町有機の地づくり協議会
小農フェス～つながりをつなぐ～ 講演会

雨前太陽
土橋博之





Organic Village

SHIRAKAWA



K-73
SHIRAKAWA
ORGANIC VILLAGE





コーラシロップ

白川新米 令和元年産 白川新米 令和元年産

白川新米 令和元年産 白川新米 令和元年産

白川新米 令和元年産 白川新米 令和元年産

白川新米 令和元年産 白川新米 令和元年産

白川新米 令和元年産 白川新米 令和元年産

白川新米 令和元年産 白川新米 令和元年産

白川新米 令和元年産 白川新米 令和元年産

ホームページリニューアル



<https://shirakawa-yuuki.net>

- ・オーガニックビレッジ宣言の紹介
- ・ゆうきハートネットの紹介も統合
- ・視察、研修のフォームを新設

①地域農業としての有機農業の可能性調査

様々な関係者とつながりをもつ

- ・ 営農組合
- ・ 学校
- ・ 食、農に関心のある人
- ・ 技術を高めたい農家

営農組織との有機農業のあり方調査（2022）



法人営農組織と懇談会
（白川町黒川地区）

第1回 7月28日

第2回 12月14日

第3回 3月1日

課題

営農：担い手不足

ゆうき：フレキシブルな農地
の貸借（農地不足のため）

営農組織の方と一緒に有機栽培をする圃場の設置へ
前向きな動きとして今後とも情報共有を続ける



2023.6.28
みのる産業さんのご協力で
除草機実演会

